

働く者の祭典「第86回 日比谷メーデー」開催

平成27年5月1日(金) 日比谷公園 野外音楽堂

台東新聞

発行責任	委員	部長
編集	責任	部
教	宣	
東京	清	掃
労働	組	合
台東	支	部

2015年5月18日
第24号



働く者の団結で生活と権利、平和と民主主義を守ろう

暑い！・・・立っているだけで汗が滲み出てくる5月とは思えぬ強い日差しの中、今年も日比谷野外音楽堂で第86回目となる日比谷メーデーが開催され、青年部を含め17名の仲間が参加をしました。

開会前のオープニングでは青年部が中心となった即席の合唱隊が「座りこめここへ」を熱唱。開会宣言の後、労働法制の改悪反対！原発の再稼働反対！集団的自衛権の行使反対！戦争国家体制を許すな！との声を高らかにあげ、私たち労働者の生活と権利、平和と民主主義を守るため、全世界の人々と手をつなぎ、共に戦っていきましょう！と決起しました。

労働者の結集と団結で戦いましょう！



最後にアピールを採択 団結がんばろう！
この後、皆でデモ行進へ



参加した、台東支部の仲間達



代々木公園に向けてデモ行進する、東京清掃の仲間

「メーデー中央大会」開催

4月29日(水曜日)

平和を守り、雇用を立て直す!



約4万人の労働者が参加した中央メーデーでは「労働者法制改悪阻止・長時間労働抑制を」宣言を採択し、労働者保護ルールの改悪に断固反対とのメーデー宣言を採択した。

これには黒河内中央執行委員・長峰書記次長・古野さんの3名が支部を代表し参加してきました。

◇参加者ボイス◇

今戸本所 藤田 周平

入庁3年目にして、初めて今回の「第86回日比谷メーデー」に、青年部として参加させていただきました。

新聞やニュースなどでは、ことさら大企業中心の株価の動向ばかりを取り上げ、好景気を謳う情報が溢れています。大多数の労働者の実感としては、むしろその逆であり、今回のメーデーでも、職責・職歴に見合わない賃金への不満、際限のない長時間労働への不満、正規職員と非正規職員との待遇の差への不満、さまざまな業種・職種の労働者から、様々な不満が訴えとなり続出したことから、清掃職場を含めて自分たち労働者の置かれている状況が厳しいものだという事が実感できました。

当然のことながら、労働者1人1人にはそれぞれの生活があり、その中で時間を割き、職種の垣根を越えて意思統一するということとは、とても貴重で、また有意義な時間であると感じました。

メーデーに参加された皆様、お疲れさまでした。青年部としても今後、「いのちと権利」を守るために、自分たちなりに考えて行動し、力の限り戦っていきたくと考えています。



あしあと

台東酒場

好きなテレビ番組の中で、吉田類の酒場放浪記があります。知っている方も多いのではないのでしょうか。鼻目にも、台東区のお店が多く紹介されています。

吉田さんが楽しそうに店主や居合わせたお客さんと交流され、ほのぼのした雰囲気です。

映像を見ると、つい行きたくなってしまふのは私だけではないはず。

みなさんもお酒はほどほどに、ちどりへあしあとにならないように。

ちなみに、浅草ロック・くじらや、アメ横・大統領、鶯谷・ささのや、まだまだ魅力的な店が、台東区には色々ありますよ。

暑気払いなどに利用してはいかがですか。

(Aモリ)